

わ～いっぱい出てきた！園児たちが楽しく芋掘り



5月27日、豊野保育園（北山美智代園長）のくま組、きりん組（4歳、5歳児）の園児64人が、林田勝次さん（豊野町糸石）所有の畑で、ジャガ芋掘りを体験しました。

林田さんからジャガ芋が実るまでの説明の後、泥まみれになりながら土の中のジャガ芋を探し、歓声を上げながら引き抜いていました。

ジャガ芋は、今年卒園した園児と一緒に2月に植えたもので、8月には卒園した園児も招いて、そのジャガ芋を使ったカレーパーティをする予定だそうです。

6月4日、小川町の河江保育所（瀧川絹子所長）の園児たちが今年卒園した1年生と一緒にジャガ芋掘りを行いました。卒園前に今の1年生たちが植え付けたジャガ芋で、園児たちと1年生と一緒に仲良く芋掘りを体験してもらおうと計画したものです。「せんせい、大きなのが二つもあったよ！」「わー！いっぱい出てきた！」と久しぶりに会った1年生と園児たちは歓声を上げながら、芋掘りを楽しみました。

この後、園児たちはとうもろこしと枝豆を植え付けし、「今度はいつできるの？」と収穫する時を楽しみにしているようでした。



楽しそうにジャガ芋を掘る園児たち

未来に残そう青い海 海水浴場でごみ調査

6月11日、三角町戸馳の若宮海水浴場で漂着ごみ調査が行われ、小中学生と保護者ら約50人が参加しました。環境保全への関心を高めるため、「海洋環境保全推進週間」（6月5日～11日）に合わせ、海上保安部が平成12年から毎年実施しているものです。

まず5班に分かれて海岸のごみを収集。それらを分類し、調査票に記入しました。集めたごみは海岸で5袋（可燃ごみ4袋・不燃ごみ1袋）、キャンプ場内で7袋。花火のかすが最も多く、次いでたばこの吸殻でした。



「花火をした後、僕は帰るよ」と前田悠伸君（右）と橋柿晃司君

自然保護活動を続けて30年 前田秀造さんが地域環境保全功労者に

平成17年度の環境大臣表彰に、元宇城自然観察会会長の前田秀造さん（64歳・不知火町高良）が、地域環境保全功労者として表彰されました。

これは環境省が6月の環境月間に合わせて、環境保全等に顕著な功績があった個人や団体に対して、功績をたたえ表彰を行っているものです。前田さんは約30年間宇城地区を中心に自然環境についての調査や観察学習会を行っています。

「自然は複雑で、不明な点が多くあります。自然を見ていくには、人間の目線で見るとはダメ、植物や生き物の立場に身を置いて見ていくことが大切だと、永年の学習を通じて学びました。今後もこの姿勢を貫いていきたい」と抱負を述べていました。



前田 秀造さん

宇城地域での大規模災害に備えて 消防本部と医療機関が訓練を実施

災害などで多数の負傷者が発生した場合を想定した「大規模災害訓練」が5月21日、宇賀岳病院（村上幹彦院長）でありました。宇城広域消防本部や宇城管内の医師会、救急指定病院などをつくる宇城地域メディカルコントロール協議会の主催。

この訓練は先のJR福知山線での災害を教訓とし、消防本部と医療機関の連携を強化しようと実施したものです。救急隊員や医師、看護師、検査技師など約100人が参加しました。

今回は、松橋小学校入口交差点で約30人を乗せた観光バスとダンプが出会い頭の衝突をしたという設定。負傷者を救急隊員が同病院玄関前の仮設テントに搬送し、医師や看護師が負傷の程度に応じて敏速にトリアージ（分類）を行い治療室へ運ぶ本番さながらの訓練を行いました。

また、重症患者1人を熊本市の高次医療機関へ運ぶことを想定し、県防災消防航空隊の防災消防ヘリコプター「ひばり」も参加しました。

訓練を終えた参加者からは、「実践に即した訓練ができてとてもためになった」などの感想が聞かれました。



重症患者を熊本市の医療機関へ運ぶことを想定して防災消防ヘリを使った訓練も実施



負傷の程度に応じて患者を敏速にトリアージ（分類）しました

子どもからお年寄りまで参加 町民体育祭でハッスル、ハッスル！

5月29日、三角グランドで三角町民体育祭（宇城市教育委員会主催）が開催され、町民約900人が参加。心地良い汗を流しました。

主催者を代表して佐田祐一教育委員が「それぞれの地区が優勝の喜びを分かち合うことができるようになってほしい」とあいさつ。むかでリレーや三輪車リレーなどの競技のほか、町内3保育園によるゆうぎや、高齢者による踊り発表などもあり、子どもからお年寄りまで楽しんでいました。



矢崎地区の冨武聖一さん、敬済君、将大君親子による選手宣誓

大会成績は矢崎地区が2年連続の栄冠を手にし、地区住民らは大喜びしていました。

受章おめでとうございます 2005年春の叙勲に3人が受章

このほど政府が発表した春の叙勲に、宇城市から下記の3人の方が受章しました。叙勲とは、国または地方自治に対して多年にわたる功績のあった人を表彰するものです。なお県外在住者では、東京松橋会会員の樋口和彦さん（71歳・松橋校区出身）が瑞宝小綬章を受章しました。



瑞宝双光章

元松橋町消防団団長
野田 義輝さん
（75歳・松橋町古保山）

瑞宝単光章

元郵政事務官
林田 顯則さん
（65歳・松橋町内田）



瑞宝単光章

元福岡検疫所鹿児島検疫所支所船長
牧野 直勝さん
（62歳・三角町波多）

